

100年先の香川を見つめて

令和7年度県政のあらまし

県民100万人計画

デジタル田園都市100計画

にぎわい100計画

かがやくけん、かがわけん。

香川県

「人生100年時代のフロンティア県」の実現をめざして

人生100年時代を迎える中、すべての県民が生涯のあらゆる段階で活躍し、人生の豊かさと幸せを実感しながら安心して暮らすことができる地域社会を全国に先駆けて実現する「人生100年時代のフロンティア県」をめざします

県民100万人計画

安全・安心で住みたくなる香川をつくります

- ① 「子育て県かがわ」をつくる
- ② 教育の充実
- ③ 女性や高齢者、障害者が活躍する社会づくり
- ④ 安心できる医療・介護体制を構築
- ⑤ 災害や渇水に強い県土をつくる
- ⑥ 交通事故や犯罪のない安全安心な社会をつくる
- ⑦ 人口100万人計画

デジタル田園都市100計画

活力に満ち挑戦できる香川をつくります

- ⑧ 産業拠点香川へ
- ⑨ 「四国の玄関口」として確かなインフラ整備を進める
- ⑩ 農林水産業の先進県へ
- ⑪ 県産品の販路拡大
- ⑫ あらゆる世代・人材で香川の産業を支える
- ⑬ グリーン社会の実現
- ⑭ デジタル社会を形成する

にぎわい100計画

多くの人が行き交い
訪れたくなる香川をつくります

- ⑮ 観光客2割UPを目指して
- ⑯ まち全体の美化推進
- ⑰ 文化芸術、スポーツの振興による地域活性化



SDGs(Sustainable Development Goals)は、2015年9月、国連サミットにおいて採択された、2030年までに達成すべき国際社会全体の開発目標です。SDGsの理念や目標は、県が総合計画に基づき取り組むこととしている各施策と方向性を同じくするものであり、これらの取組を推進することにより、SDGsの達成につなげていきます。



確かな未来への一歩

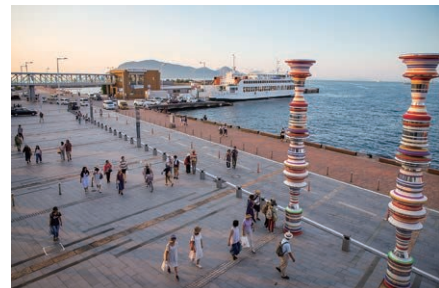
にぎわいで活性化

瀬戸内国際芸術祭2025

6回目の開催となる「瀬戸内国際芸術祭2025」は、会期が、春・夏・秋の全107日間、会場は、新たに志度・津田エリア、引田エリア、宇多津エリアを加え、過去最大の全17エリアで開催します。



▲栗林隆「伊吹の樹」
Photo:Keizo Kioku



▲大巻伸嗣「Liminal Air-core-」
Photo:Shintaro Miyawaki

かがわ総文祭2025

かがわ総文祭2025

7月に第49回全国高等学校総合文化祭(かがわ総文祭2025)を本県で開催します。県内各市町と連携して周知・広報に取り組むとともに、生徒実行委員会を中心に開会行事や各部門大会等の運営を行います。



▲かがわ総文祭2025プレ大会パレード

かがわマラソン2026

かがわマラソン
KAGAWA MARATHON
みんなで、よーい、うーん!

スポーツ文化の醸成を図るとともに、地域資源の魅力を県内外に発信し、にぎわいの創出や交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化につなげるため、本県で新たにフルマラソン大会を開催します。



▲(参考)香川丸亀国際ハーフマラソン

地域資源の魅力向上と活性化をめざして

本県の地域資源を活用したにぎわいづくりを進めるため、満濃池周辺については、満濃池森林公園において、満濃池に親しめるビュースポットの整備等、琴弾公園では、山頂展望台の改築等、香川用水記念公園では、遊具・学習施設の刷新等を行うとともに、さぬきフラワーガーデン(園芸総合センター)については、隣接するさぬき空港公園との一体的な利用を促進します。



▲さぬきフラワーガーデン



▲満濃池周辺にぎわい創出



▲琴弾公園リニューアル



▲香川用水記念公園等活性化事業

新たな飛躍が始まる



「子育て県かがわ」をつくる

若い世代が定住する。結婚の希望をかなえられる。誰もが夢と仲間を持って、次代を担う子どもたちを安心して生み、健やかに育てることができる。そんな「子育て県かがわ」を社会全体でつくります。「経済的負担の軽減」、「子育て拠点の充実」、「みんなで子育て」の3つの柱に沿った施策により、少子化の流れ・局面を打開します。



▲かがわ子育てステーション

戦略的な企業誘致

本県への優良な製造業・物流業などの拠点整備や若者にとって魅力のある情報通信関連産業の立地を促進します。地域の特性や強みを活かしながら、雇用の創出や地域経済の発展につながる戦略的な企業誘致に取り組めます。



▲番の州臨海工業団地

観光客の誘致・滞在の促進

サンポート高松地区周辺の観光コンテンツづくりによる夜型観光の推進をはじめ、多島美を誇る瀬戸内海を遊覧するクルーズツアーやアート・建築をつなぐバスツアーの造成などによる滞在型観光の推進のほか、外国

人観光客の誘客に向け、高松空港国際線の就航先や東南アジア・欧米豪等の地域からの誘客プロモーション活動に取り組めます。



▲あなぶきアリーナ香川でのプロジェクションマッピング

県民100万人計画

「子育て県かがわ」をつくる

「子育て県かがわ」をつくる ※内容は2ページに記載しています。

子育て家庭や妊産婦への支援

各市町やNPO団体等が運営している、子育て家庭や妊産婦が気軽に立ち寄れる相談・情報提供・交流の場を、「かがわ子育てステーション」として登録を進めています。登録施設には、目印となるステッカーを掲示しています。



かがわ子育てステーションロゴマーク

教育の充実

学力の育成

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善により児童生徒の確かな学力の育成を図るとともに、教員を支える体制の強化・充実により、教員が児童生徒と向き合う時間を確保します。



▲授業風景

県立高校魅力化の推進

「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」に基づき、学校の特性や地域性等を生かした教育活動のあり方についての実践研究を行います。今後の県立高校のあり方を検討し、特色があり、魅力的な高校づくりを推進します。



▲高校生探究発表会

特別支援教育の推進

子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な指導や必要な支援を行います。



▲一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援

部活動改革の推進

少子化が進む中、生徒の多様なスポーツや文化芸術に親しむ機会を確保するため、中学校の部活動について、地域や学校の実情に配慮しながら、段階的な地域展開に向けた環境づくりに取り組みます。



▲部活動の地域展開に向けた実証事業の実施

女性や高齢者、障害者が活躍する社会づくり

女性の活躍推進

女性リーダーの養成など、男女共同参画に向けた取組の推進や、女性が働きやすい環境の整備を通して、あらゆる分野における女性の活躍を推進します。



▲R6女性リーダー集合写真

障害者の就労促進

民間企業における障害者の雇用促進を図るため、専門のアドバイザーが県内企業の支援ニーズに対応した個別支援を行うほか、障害者の雇用や定着に向けた研修会や企業間の交流会等を開催します。



▲障害者雇用

健康寿命の延伸に向けた健康づくり

野菜摂取量や骨密度などの測定器を活用し、生活習慣や健康状態を見える化することで、健康行動への変容を促すとともに、要介護の原因となる認知症や骨折等への対策強化に取り組みます。



▲スーパーでの測定キャンペーン

安心できる医療・介護体制を構築

ドクターヘリの運航・K-MIX R「医療機器共同利用システム」の開発

香川県ドクターヘリの効果的な運航を図るとともに、広域的な連携協力体制を構築することで、本県の救急医療や災害医療の充実・高度化を図ります。また、かがわ医療情報ネットワーク「K-MIX R」の新機能と



▲K-MIX R「医療機器共同利用システム」

してCT等の撮影を依頼する医療機関と撮影する医療機関をマッチングする「医療機器共同利用システム」を開発し、医療機能の分化・連携を推進します。

感染症対策の強化

感染症分野の専門人材を養成するため、感染症専門医の育成、県内医学生への教育等を行うとともに、第一種感染症病棟の運営、新興感染症等の発生に備えた訓練や研修の実施などに取り組み、感染症対策の強化を進めます。



▲エボラ出血熱患者発生時の対応訓練

介護人材の確保対策

介護を必要とする方が安心して介護サービスを受けることができるよう、その担い手となる外国人介護人材の受入れを促進するとともに、外国人介護人材が円滑に就労し、職場に定着できるよう環境を整備する取組を支援します。

災害や渇水に強い県土をつくる

避難所の生活環境の整備

避難所の生活環境の整備を加速するため、既設トイレを衛生的に使用するため「流さないトイレ」の使用を普及させるほか、生活用水を確保するため井戸水の活用促進やプライバシーの確保・就寝環境の向上のための資機材整備の補助に取り組みます。



▲「流さないトイレ」(携帯トイレ)

公共土木施設の老朽化対策の推進

道路、河川、港湾等の公共土木施設について、定期的な点検により劣化状況を適切に把握し、長寿命化を図るための計画的かつ効率的な補修工事に取り組むなど、老朽化対策を推進します。



▲橋梁点検状況(新川尻橋)

南海トラフ地震・津波対策の推進

「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、優先度の高い箇所から重点的・集中的に海岸堤防や河川堤防等の地震・津波対策を進めます。「第12次香川県老朽ため池整備促進5か年計画」に基づき、老朽化が進行した防災重点農業用ため池の防災対策を推進します。



▲地震・津波対策工事(志度港)



▲地震・津波対策工事(相引川)



▲老朽ため池整備工事

大規模な風水害に強いまちづくりの推進

近年、頻発化・激甚化している豪雨による洪水や土砂災害などを未然に防止するため、「香川県流域治水プロジェクト」に基づき、河川堤防や砂防施設等を整備します。



▲岩崎川砂防堰堤(普通寺市大麻町)



▲本津川広域河川改修工事(高松市鬼無町・御蔵町)

水の安定供給の確保

香川県広域水道企業団や直島町が行う水道施設の整備を支援することにより水道施設の更新・耐震化を推進し、地震などの災害に強い水道を構築します。また、洪水を防御する治水機能と河川維持用水などを安定供給する利水機能を有するダムの整備を計画的に進めます。



▲試験湛水時の梶川(かがわ)ダム(高松市塩江町)

交通事故や犯罪のない安全安心な社会をつくる

交通死亡事故の抑止

県民の交通安全意識の高揚を図るため、体系的な交通安全教育や啓発活動を推進します。特に、高齢者に対しては、



▲高齢者交通安全ガイド



▲自転車乗車用ヘルメット

高齢者交通安全ガイドの訪問指導によるきめ細かな交通安全教育を推進します。また、高校生の交通安全意識の向上を図るため、ヘルメット着用に取り組む高校の自転車通学生に、ヘルメット購入費の補助を行います。見やすく分かりやすい道路標識・標示の整備など、交通事故の起きにくい交通環境の整備も行います。

犯罪防止に向けた取組の推進

特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺等の犯罪を防止するため、動画を用いた広報啓発や、生成AIを活用したシミュレーションツールによる被害仮想体験などにより県民の詐欺への抵抗力を高めるとともに、その他の犯罪についても、犯行の手口や地域の犯罪発生状況等を分析した上で、検挙と抑止の両面から効果的な対策を推進します。

また、人が集い犯罪発生の増加が懸念されるサポート地区及び繁華街地区に対して、街頭防犯カメラを設置することで、犯罪の機会を与えない環境を整備するなど、犯罪防止に向けた取組を推進します。

サイバー空間の脅威への的確な対処

サイバー空間を巡る脅威に的確に対処するための機能強化を図ることを目的として、警察本部警務部内にサイバー・情報管理局を設置します。



▲広報啓発用動画



▲金融機関等対象の防犯アドバイザー活動

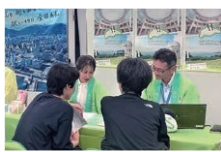


▲サイバー・情報管理局発足式

人口100万人計画

定住人口を拡大する

市町等と連携しながら、大都市圏で開催する移住フェアやSNS等で広く「かがわ暮らし」の魅力を発信するとともに、住宅情報の提供や就職相談、定住サポートに取り組みます。



▲移住フェア

デジタル田園都市100計画

産業拠点香川へ

戦略的な企業誘致 ※内容は2ページに記載しています。

スタートアップ等の創出促進

県経済を牽引するスタートアップが継続的に生まれ、育つ「香川らしいスタートアップエコシステム」の形成に向け、機運醸成、拠点確保、相談・伴走、成長加速化の観点から支援を行います。



▲かがわスタートアップフェスタ

デジタルの活用による競争力強化

県内企業の生産性向上や技術の高度化を図るため、生産現場の実態・ニーズに応じて、AI技術を活用した研究開発やロボット等の先端技術の導入等を促進するとともに、県内企業のデジタル化を支援します。



▲AI関連技術講習会

「四国の玄関口」として確かなインフラ整備を進める

高松空港の利便性向上

空港運営会社と連携しながら、航空ネットワークの拡充とそれを支える利用環境の向上に取り組みます。



▲高松空港

幹線道路や重要港湾等の整備

香川県幹線道路ネットワーク整備長期ビジョンを踏まえ、新規事業の具体化に必要な調査・検討を行います。



▲高松港国際物流ターミナルの整備

高松港が四国における物流・交流拠点として発展するよう、高松港国際物流ターミナルや高松港複合一貫輸送ターミナルの整備を進めるなど、港湾機能の強化を推進します。



▲栗林公園への視察ツアーの実施

みなとのにぎわい創出

高松港では11万トン級までの大型クルーズ客船受入施設整備のほか、大型プレジャーボート受入施設の増強を検討するとともに、港湾緑地等の利活用や多様なニーズに対応した利便性の高い施設整備等を進めるなど、みなとのにぎわい拠点の整備に取り組みます。



▲高松港(玉藻地区)大型クルーズ客船受入施設の整備

農林水産業の先進県へ

農産物の需要拡大

高品質な県産の野菜、果樹、花きとレモンを束ねた「さぬき讃シリーズ」や「おいでまい」を含む県産米、「さぬきの夢」等について、生産者や「さぬき讃サンはなやか(花野菜)大使」等と連携したプロモーション活動により、認知度向上を図るとともに、輸出に向けた生産者の取組を支援し、県産農産物の需要拡大につなげます。



▲農産物の需要拡大(かがわ「旬のイチオシ!」農産物フェア)

オリジナル品種の生産振興

小麦「さぬきの夢」の新品種をはじめ、キウイフルーツ「さぬきエメラルド」、アスパラガス「さぬきのめざめ2021」、ランキュラス「てまりシリーズ」、オリーブ「香オリ3号」「香オリ5号」など、県オリジナル品種の導入による高品質で特色のある農産物の生産振興に努めます。



▲県オリジナル品種「さぬきの夢2023」



▲県オリジナル品種「さぬきエメラルド」



▲県オリジナル品種「さぬきのめざめ2021」



▲県オリジナル品種(ランキュラス、カーネーション)



▲県オリジナル品種「香オリ3号」

オリーブを生かした地域経済の活性化

オリーブの生産振興や、官能評価・化学分析に関するI・O認定取得などの国際機関と連携したオリーブオイルの高品質化、オリーブ畜水産物などの生産振興に努めるとともに、戦略的な情報発信によるブランド力の強化を図り、全国トップにあるオリーブ産業の発展とオリーブを生かした地域の活性化に取り組みます。



▲香川県産オリーブオイル

豊かな海づくりの推進

近年、温暖化や栄養塩等により瀬戸内海の世界環境が大きく変化し、漁獲量が激減しているため、水産資源の早期回復に向け、不漁原因の究明や漁場環境の改善など、豊かな海を取り戻すための取組を総合的に進めます。



▲産卵や稚魚の成育の場となる藻場

農山漁村の活性化

農山漁村地域の豊かな自然環境や伝統文化、農林水産物などの魅力あふれる地域資源を発掘・活用し、都市住民との交流や農山漁村地域への移住・定住の取組を促進します。



▲都市住民による農村体験

森林整備と森林資源循環利用の促進

間伐等による森林整備に取り組むとともに、公共施設や民間住宅等での「かがわヒノキ」を中心とした県産木材の利用促進、普及啓発に努めるなど、川上、川中、川下が一体となって、森林整備と森林資源の循環利用を推進し、脱炭素社会の実現に貢献します。



▲県産木材利用施設「県立アリーナ武道施設」

県産品の販路拡大

県産品のブランド力の強化と認知度向上の推進

アンテナショップ、県産品ポータルサイト、インターネットやSNS等を活用し、県産品の効果的な情報発信を行います。観光客や県内の消費者に向け、香川の「食」の情報発信や販売促進に取り組みます。

伝統的工芸品及び地場産品のブランド力強化と販路拡大

高度な伝統的技術・技法によって生み出される「香川漆器」や「庵治石」、全国一位の生産量を誇る「丸亀うちわ」、「手袋」などの伝統的工芸品や地場産品について、首都圏のセレクトショップ等においてフェアを開催し、販売促進に努めます。技術者・職人の育成やプロモーション活動を支援します。海外でも造形美の評価の高い「松盆栽」について関係団体と連携した販路拡大に取り組みます。



▲香川漆器



▲香川手袋



▲庵治石



▲丸亀うちわ



▲松盆栽

あらゆる世代・人材で香川の産業を支える

求職者への就職支援と県内企業の 人材確保

地方版ハローワーク「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」において、きめ細かなマッチング支援や県内企業の情報発信を行い、正規雇用での県内就職を促進して県内企業の人材確保を図ります。



▲コーディネーター（相談）



▲ハノイ工科大学における香川県講座

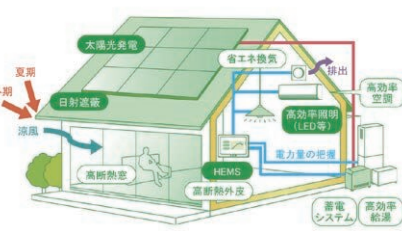
外国人材の受入れ促進

「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」に専任のコーディネーターを配置するほか、ハノイ工科大学や新たな海外の実業系大学等と連携し、日本語教育及び本県や県内企業の魅力発信等を行う講座を開設するなど、県内企業における外国人材の確保につなげます。

グリーン社会の実現

地球温暖化対策の推進

「家庭・企業の脱炭素推進」「太陽光（熱）エネルギーの最大限活用」「吸収源対策」「新エネルギーの活用」の4つの重点取組分野を中心に、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）等の導入や断熱改修の促進など、地球温暖化対策に取り組みます。



▲ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）

循環型社会の形成

できる限りごみを減らし（リデュース）、可能なものは再利用（リユース）・再資源化（リサイクル）するなど循環の利用を推進します。
また、災害廃棄物処理の充実・強化や、不法投棄対策の一層の強化に取り組みます。



▲フィールド講座



▲若手狩猟者の確保・育成講座



▲海岸に漂着したプラスチックごみ



▲体験型環境学習



▲犬とのふれあい体験教室

生物多様性の保全

県内の研究者等が収集・保管している標本を活用した「まちかど生き物標本展」や、香川の自然に親しむフィールド講座を開催し、香川の生き物やその現状を知る機会を子どもたちに提供します。

有害鳥獣対策の推進

依然として深刻なイノシシによる被害に対処するため、県主体の捕獲事業や市町が実施する市街地周辺での捕獲等の支援を行うなどの有害鳥獣対策に取り組めます。
また、捕獲の担い手となる若手狩猟者の確保・育成を推進します。

海ごみ問題の解決に向けて

海ごみは、プラスチックごみ等の生活ごみが大半を占めているため、海ごみの回収とあわせて日常生活に由来する海ごみの発生抑制を図る必要があります。かがわ海ごみリーダー（香川県海岸漂着物対策活動推進員）と協力し、海岸清掃活動等を通じて地域での海ごみ対策を推進します。

環境を守り育てる地域づくり

環境学習の実施や環境について考える機会の提供など、環境を守り育てるための「人づくり」に加え、市町や民間団体等との連携により、環境保全の取組が県全体に広がり、持続可能となるための「地域づくり」を推進します。

人と動物との調和のとれた共生社会 づくり事業

さぬき動物愛護センター（しっぽの森）を拠点として、動物愛護管理についての普及啓発や犬猫の適正な譲渡を推進します。また、飼い主のいない犬猫を増やさない地域の取組を支援し、保健所に収容される犬猫の減少に努めます。

デジタル社会を形成する

官民でDXの推進・人材育成

官民共創コミュニティ「かがわDXLab」において、官民のそれぞれの知見を生かし、課題の抽出・深堀や、解決手法の精査、実証実験等に取り組み、住民に寄りそったサービスを実装することで、地域課題解決につなげます。



▲「かがわDXLab」のワーキングの様子

また、情報通信関連産業のオープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」において、人材育成講座や各種セミナー等を実施するなど、地域や企業のデジタル化を支え、イノベーションを創出するデジタル人材の育成を推進します。

にぎわい100計画

観光客2割UPを目指して

観光客の誘致・滞在の促進 ※内容は2ページに記載しています。

まち全体の美化推進

快適で美しいまちづくりとおもてなしの向上

市町や観光協会、観光関係団体等と連携し、全県的な「観光香川おもてなし運動」を展開します。
また、まちの美化やトイレの洋式化を推進し、本県を訪れる観光客の利便性と満足度の向上に努めます。



▲サンポート高松地区プロムナード化

地域資源の魅力向上と活性化をめざして

※内容は1ページに記載しています。

安全で美しく楽しい、歩行者優先の空間づくり

サンポート高松から高松中央商店街に向けて、中心市街地の回遊性、滞在性の向上に取り組みます。

文化芸術、スポーツの振興による地域活性化

瀬戸内国際芸術祭2025 ※内容は1ページに記載しています。

文化芸術の振興

文化芸術を担う人材の育成をはじめ、県立ミュージアムやレクザムホール（県民ホール）における文化事業など文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。
香川漆芸やかがわ文化芸術祭など香川の特色ある文化芸術を活かした地域づくりにも取り組みます。



▲かがわ文化芸術祭

かがわ総文祭2025

※内容は1ページに記載しています。

文化資源の継承と活用

特色ある有形・無形の多彩な文化資源の継承と充実を図り、地域づくりに生かすため、県内外から広く寄附を募るなど、幅広く文化財保全活動への支援や参画を促進します。



▲重要文化財・金刀比羅宮の主要建造物の大規模保存修理

地域密着型スポーツチームの振興

地域密着型スポーツチーム（香川オリブガイナース、カマタマーレ讃岐、香川ファイブアローズ、香川アイスフェローズ）の応援機運醸成等の支援とともに、チームを活用した地域活性化や地域課題解決等に取り組みます。



▲©KAGAWA FIVE ARROWS
プロスポーツチームの活躍

トップアスリートの育成

国際大会等で活躍できるトップアスリートを輩出するため、ジュニア期からの一貫指導体制による育成、強化に取り組むとともに、練習環境を整備するなど、より一層の競技力の向上を図るほか、スポーツに関する情報発信に取り組みます。

かがわマラソン2026

※内容は1ページに記載しています。



▲バドミントン桃田選手による
かがわドリームスポーツ教室

令和7年度一般会計当初予算の歳入歳出

(単位：百万円)

歳入 歳出

県税 133,729(26.9%)

地方交付税 128,000(25.8%)

県債(臨時財政対策債以外)
27,659(5.6%)

地方消費税清算金 54,903(11.1%)

国庫支出金 54,241(10.9%)

諸収入 45,167(9.1%)

繰入金 23,023(4.6%)

その他 29,984(6.0%)

4,967億600万円
(100%)

教育費 99,517(20.0%)

民生費 75,586(15.2%)

諸支出金 71,413(14.4%)

公債費 63,401(12.8%)

商工費 48,790(9.8%)

土木費 36,857(7.4%)

総務費 30,119(6.1%)

警察費 27,333(5.5%)

農林水産業費 20,471(4.1%)

衛生費 14,874(3.0%)

その他 8,345(1.7%)

県勢要覧

区 分	数 値	全国順位	年 次
降 水 量	1,073.0mm	39位	R5年
日 照 時 間	2,207.9時間	20位	R5年
面 積	1,876.87km ²	47位	R5.10.1
人 口	925,588人	38位	R5.10.1
人口密度(1km ² 当たり)	493.2人	11位	R5.10.1
合 計 特 殊 出 生 率	1.40人	11位	R5年

区 分	数 値	全国順位	年 次
第1次産業就業者の割合	4.83%	24位	R2.10.1
第2次産業就業者の割合	25.14%	20位	R2.10.1
第3次産業就業者の割合	70.03%	20位	R2.10.1
有 効 求 人 倍 率	1.42倍	11位	R5年度
1人当たり県内総生産(名目)	4,101千円	25位	R3年度
1人当たり県民所得	2,851千円	31位	R3年度

出典：100の指標からみた香川(令和7年版)

行政経営の推進

行政運営の基本理念

香川県の総合行政の主体として、真摯に地域と向き合い、県民起点の行政サービスを提供し、県民一人ひとりの幸せと、生きがいのある社会の実現に貢献する。

行政運営のビジョン(令和10年度のありたい姿)

「人生100年時代のフロンティア県」の実現に向けて挑戦する香川県庁

ビジョンの実現に向けた取組

挑戦に向けた体制づくり

現場主義による企画・検証・改善

連携による実施

行政マネジメントの推進

上記のサイクルを遅滞なく回すことで、外部環境の急速な変化と内部環境の課題に対応しつつ、ビジョンを実現する。

外部環境の急速な変化

進展する
少子高齢化と
人口減少

デジタル技術の
目覚ましい進歩

ポストコロナ
時代の働き方や
意識の変化 等

内部環境の課題

職員の年齢構成
の変化への対応

働きやすい
職場づくり

定年延長に伴う
モチベーションの
維持・向上 等

令和6年度から5年間を計画期間とする「香川県行政経営指針-2024-」に基づき、行政運営のビジョンの実現に向けて、各種取組を行います。

主な取組

(★印は特徴的な取組)

1 挑戦に向けた体制づくり

挑戦に向け、組織体制の構築や人材の確保、職員の育成を行うほか、職員が仕事のやりがいやキャリアを通じた成長を実感できるよう、人材マネジメントの向上に取り組む。職員がお互いの違いや背景を尊重し、その力を最大限発揮できるよう、働きやすい職場づくりを行う。

★管理職や中間層のマネジメント能力の向上 ★人事考課制度の見直し
★庁内ジョブチャレンジ制度の推進 ★男性職員の育児休業等の取得の推進
★フレックスタイム制や在宅勤務などの推進 ★フリーアドレスの推進

2 連携による実施

施策の実施にあたり、小規模な本県がより良い成果を上げるため、市町や他県、民間等との連携・協働による実施に努めるほか、デジタル技術の利活用により、県民の利便性の向上や、施策の効果的・効率的な実施に努める。

★生成AI・ノーコードツールなどのデジタル技術の活用

3 現場主義による企画・検証・改善

行政サービスが、真に県民一人ひとりの幸せや、生きがいのある社会づくりに繋がるよう、現場主義に立って企画・検証・改善を行う。県民に近い立場で仕事をする現場の職員が、より円滑に業務ができるよう、現場主義に立った改善を行う。

★地域社会貢献に繋がる兼業の推奨

4 行政マネジメントの推進

県民の信頼と期待に応えるとともに、限られた資源を最大限活用して成果を出していくため、各種マネジメントの向上に取り組む。